



全日畜だより

[こちら編集部] (03)-3583-8034

東京都港区麻布台2-2-1麻布台ビル

発効日 2018年10月10日

発行NO 2018 - 13号

全日畜の役員が国会議員要請

(平成31年度予算の概算要求がスタート、緊急補正予算も視野に)

◎ 自民党の衆議院議員 森山 裕 先生に要請

全日畜は、各省庁からの平成31年度予算の概算要求が財務省に提出されたタイミングを捉えて、9月13日(木)役員による国会議員要請を実施しました。

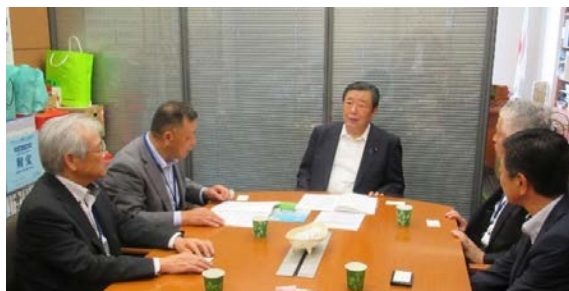
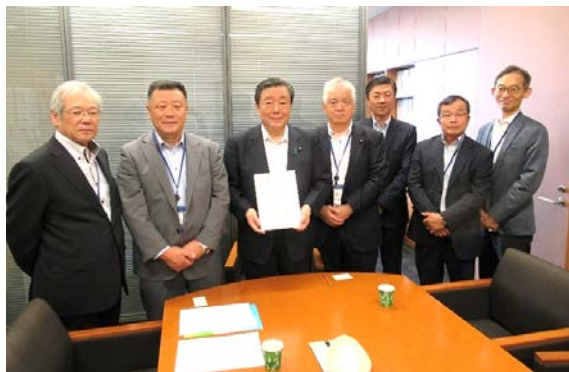
今後、日EU・EPAやTPP11などが発効されれば、畜産経営に対する経営面や技術面で国からの支援の実施が強く求められます。金子理事長他要請団は、自民党のTPP・日EU等経済協定対策本部長の森山 裕 議員と面会し、生産現場の実情等を説明し、生産者に寄り添った施策を強く要請しました。

◎ 「北海道胆振東部地震」の現地の状況を説明

要請の中で、議員から、直前(9月6日)に北海道胆振地方中東部で発生した震度7の地震被害について、現地の状況を聞かせて欲しいと尋ねられ、同席していた道東の酪農経営者である佐々木春男 全日畜理事が、全道がブラックアウトし悲惨な事態にあることを具体的に説明し、経営継続に向けた速やかな支援を要請しました。

◎ 農林水産省生産局の 富田育稔 畜産部長を表敬

全日畜の金子理事長ほか一行は、7月27日付で就任された富田育稔 畜産部長を表敬しました。畜産部長室で応対された富田部長は、豪雨・台風・地震災害そして豚コレラと、度重なる事態の発生に就任以降連日の対応。今後とも畜産生産者のみなさんと意見交換しながら、畜産振興を図っていききたいと話されました。



関東甲越ブロックの基金協会理事長会議が開催

◎ 10月4日・5日、平成30年度の関東甲越ブロック基金協会理事長会議が山梨県で開催されました。商系3団体(工業会、全日基、全日畜)も出席し、直近情勢等を話題提供しました。(写真は、来賓としてご挨拶を頂戴した山梨県の 菊島一人 畜産課長)

◎ 今後の予定として、11月7日・8日は、平成30年度の東北ブロック基金協会理事長会議が宮城県での開催を予定しています。

(文中での団体の略称標記について)

- ・一般社団法人 全日本畜産経営者協会 (全日畜)
- ・協同組合 日本飼料工業会 (工業会)

- ・一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金 (全日基)
- ・一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会 (〇〇県基金協会)

報
告

JRA事業 「スマート畜産調査普及事業」

全日畜シンポジウム in ふくしま 「スマート畜産への期待」

- 開催日 平成30年9月27日(木)～28日(金)
- 会場 ザ・セレクトン福島 福島県福島市太田町 13-73
- 概要 27日 第一部 基調講演等 (基調講演1題、事例紹介4題、活発な意見交換がありました。)
- 27日 第二部 情報交換会 (講師等を囲んでの情報交換、簡易ブースでの展示もありました。)
- 28日 第三部 現地研修会 (酪農経営農場「ミネロファーム」ほかを研修視察しました。)

◎ 7月の鹿児島県での開催に続いて、福島県で開催した第二回「全日畜シンポジウム (スマート畜産への期待)」。金子春雄全日畜理事長が、今回の北海道での地震についてお見舞いを述べ、今日は今回の大規模停電の様なトラブルにも強い畜産経営をみんなで考えましようとの開会の挨拶をされました。



◎ 今回のシンポジウムは、東日本ブロックを中心に、16の都道府県から「スマート畜産」に感心を寄せる畜産経営者等約140名の関係者が参加し、満席の会場は終日熱気に包まれました。

◎ スマート畜産の全体像を解説する基調講演、その後4例の事例紹介と進み、モデレーターを介して、会場参加者との意見交換へと進みました。



◎ 感心の高い今日的なテーマで、会場からの質疑が切れることがなく、講師との有意義な質疑応答が続き、この熱気は第二部の「情報交換会」にも引継がれ、さらに深掘りされました。

◎ 二日目の第三部「現地研修会」は、前日の雨も上がり、遅く復興に向けた経営を展開中の「ミネロファーム (酪農)」において、国等が支援した各種実証研究の成果説明等がありました。



(文中での団体の略称標記について)

- ・一般社団法人 全日本畜産経営者協会 (全日畜)
- ・一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金 (全日基)
- ・協同組合 日本飼料工業会 (工業会)
- ・一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会 (〇〇県基金協会)